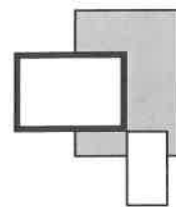




Matsuyama  
Business  
College

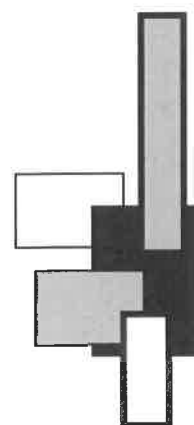
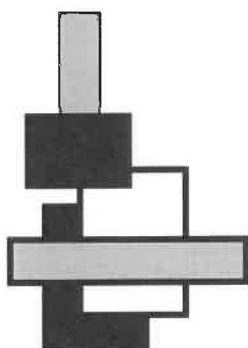


# 松山デザイナー専門学校

## ファッションクリエイター学科

2026 年度

# シラバス



ファッションクリエイターコース 1年

名前

※一年間、各自保管すること

令和8年度

服飾家政専門課程 ファッションクリエイター学科 ファッションクリエイターコース

必修 / 選択	区分	科目名	種別	担当者	ファッションクリエイター コース1年		
					前期	後期	単位
必修	学科 共通	服飾造形 I	実習	大野	180		6
		ディテールソーイング	実習	野口	30		1
		マテリアル/テキスタイル	講義	竹松	30		2
		西洋服飾史	講義	竹松	30		2
		ファッションドローイング I	実習	木村	30		1
		クリエイションデザイン I	実習	野田	30		1
		パターンメイキング I	講義	野口	60		4
		色彩学 I	講義	森田	30		2
		Mac実習 I	実習	四田	30		1
		服飾造形 II	実習	大野		210	7
		ファッションドローイング II	実習	木村		30	1
		クリエイションデザイン II	実習	野田		30	1
		パターンメイキング II	講義	野口		60	4
		色彩学 II	講義	森田		30	2
		Mac実習 II	実習	野田		30	1
		マーケティング I	講義	大方		30	2
							450
必修科目 合計					870		38
年間合計時間/単位数					870		38

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

授業科目	服飾造形 I			時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す						
学習到達 目標	縫製の基本を身につけ、オリジナルデザインの作品制作に生かせるよう技術を習得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	授業ガイダンス	ミシン、道具の使い方、縫製理論					
4～7	部分縫い	手縫い各種、留め具各種、ミシン縫い、ロックミシン他					
8～34	タイトスカート(27コマ)	ファスナー、ベルト、裏地、スリットの作り方					
35～62	パンツ(28コマ)	ベルト、ポケットの作り方、持ち出しの作り方					
63～90	シャツ(28コマ)	衿、袖、カフス、ステッチ、ボタンホールの作り方					
使用テキスト 教材・教具	『基礎テキスト』杉野学園、ボディ、他 約30点、配布プリント						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	部分縫い10%・タイトスカート30%・パンツ30%・シャツ30%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること 作品が完成したらスタイリングして写真に残す						

授業科目	ディテールソーイング			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す						
学習到達 目標	服飾造形の基礎を身につけ作品制作に生かせる技術を習得する						
担当教員の 授業に関わ る 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、既製服の縫製テクニック方法を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	授業ガイダンス・縫代始末	・授業、制作物にについて・アイロン定規(紙定規)を作成 基づく技法) ・ダーツの縫い方(既製服縫製に基づく技法)					
2	スカート部分縫い	・ダーツの縫い方(既製服縫製に基づく技法) ・縫代始末 折り伏せ等 6種 ・ファスナー付け3種 ・額縁始末・ベンツ・スリット ・裏付き始末 きせ ・ベルト付け始末 両脇ゴム通し2種					
3							
4							
5							
6							
7		ミシン縫製					
8	パンツ部分縫い	パンツ ・前ファスナー付け ・脇ポケット					
9							
10		ミシン縫製					
11							
12	袖口あき始末	・剣ボロ ・袖口いってこい					
13		・スラッシュ ・袖下あき(玉縁始末)・袖下あき(片倒し)					
14	シャツ前あき始末	・短冊始末3種 ・比翼始末 ・見返し始末					
15	テスト	前期修了テスト					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	マテリアル／テキスタイル			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	竹松 容子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	服飾素材の組成、用途、特徴を理解し、また加工の技術通して的確な知識を身に付ける						
学習到達 目標	素材特性を比較説明できる・制作物から結果を簡潔に記述できる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	オリエンテーション	素材学の重要性 「素材」で印象は変わる 評価方法説明					
2	繊維の基礎①(天然繊維)	綿・麻・毛・絹の特性比較 原料と産地 用途分析					
3	繊維の基礎②(化学繊維)	再生繊維/半合成繊維/合成繊維 ポリエステルの進化 機能素材の台頭					
4	糸の構造と番手	単糸/双糸 撚りの違い ルーペ観察					
5	織物と編物の構造	平織/綾織/朱子織 ニットの特徴 用途別比較分析 ルーペ観察					
6	染色と加工の基礎	先染め/後染め プリント技法 加工による付加価値					
7~9	藍染体験(実習)	天然染料の特性 色落ちと経年変化 レポート提出					
10	仕上げ加工・機能素材	撥水・防水・形態安定 吸水速乾・ストレッチ スポーツ/アウトドア素材					
11	スワッチブック作成①	素材分類 ラベル表記 触感分析記録					
12	スワッチブック作成②	「この素材で何を作るか？」提案記入					
13	素材×ブランド分析	素材がブランド価値をつくる例 企業事例研究(パタゴニア・ISSAY MIYAKE 等)					
14	テキスタイルと サステナビリティ	リサイクル繊維 環境配慮素材 アップサイクル 企業事例研究(パタゴニア・ユニクロ等)					
15	まとめテストと振り返り	素材判別(素材トレンド研究)・用途判別・短答記述					
使用テキスト 教材・教具	生地見本用の生地 大和藍(藍熊染料)						
参考図書 参考文献	『生地の記事』株式会社みずしま加工						
成績評価の 方法・基準	スワッチブック40%・藍染レポート20%・素材トレンド研究(プレゼン)20%・まとめテスト20%						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自、スワッチ作成用の台紙と、配布生地以外の生地を準備する						

授業科目	西洋服飾史			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	竹松 容子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	西洋服飾史を古代から現代までに体系的に学び、時代背景や文化との関係を理解する さらに調べ学習や発表を通じて、自ら情報を整理し、現代のデザインやスタイリングに活かす力を 養う						
学習到達 目標	・西洋服飾史を時代ごとに整理し説明できる・調べ学習・発表を通じて、自ら資料を収集・分析し発信できる ・服飾史の学びを現代のファッションに応用できる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ガイダンス	授業の進め方・評価方法・服飾史を学ぶ意義					
2	古代エジプト・ギリシャ	ドレープ衣装、装飾品の意味					
3	古代ローマ	トガ・チュニック、社会制度と服装					
4	中世ヨーロッパ前期・後期	ロマネスクとゴシック					
5	ルネサンス～バロック期	宮廷文化、ラッフル、豪華な素材					
6	ロココ期の服装	豪華なドレスと社会背景					
7	革命期～エンパイアスタイル	古典回帰とシンプル化					
8	19世紀前半	クリノリン時代					
9	19世紀後半	バウンスル時代・産業革命					
10	調べ学習①	グループごとに「自分たちの担当時代」を調査し、衣装や文化的背景をまとめる					
11	20世紀前半	ポール・ポワレ、アール・ヌーヴォー、アール・デコ(デザイン史・音楽史・映画史)					
12	20世紀中盤	シャネル、ディオール、戦後ファッション(デザイン史・音楽史・映画史)					
13	20世紀後半～現代	プレタポルテ、ストリート(デザイン史・音楽史・映画史)					
14	調べ学習②・発表	各グループが担当時代を発表、質疑応答					
15	まとめ	全体振り返り・現代ファッションへの応用・総括					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献	『ファッションの歴史:西洋服飾史』佐々井啓・水谷由美子編、『FASHION IN JAPAN1945-2020』						
成績評価の 方法・基準	提出物40%・小課題(調べ学習のまとめ)20%・グループ発表20%・期末レポート20%						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	西洋服飾史を単なる歴史知識としてではなく、現代アパレルビジネスとの関連性を意識して学ぶ 販売・商品企画・VMDにどのように応用できるかを考えながら履修すること						

授業科目	ファッションドローイング I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	描き方の基礎を学び、イメージを絵として表現できるようになる						
学習到達 目標	ファッションデザイン画基礎を身に付ける						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	基礎	クロッキー・人をどう見るか					
3～6	人体図	パーツバランスの取り方・「核」と「アタリ」とは					
		人を書いてみる(全身)					
7～15	デザイン画	模写(モノクロ)					
		絵具の使い方・影のつけ方					
		好きな資料(写真や雑誌、WEB画像)を使ってデザイン画を描いてみる					
		仕上げ					
使用テキスト 教材・教具	コピックチャオ、ミリペン1セット(サクラピグマ0.1/0.3/0.5)、マルマンクロッキー帳SM-02 水彩色鉛筆、画用紙						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品100%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自必要な画材、ノートを持参する						

授業科目	クリエイションデザイン I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う						
学習到達 目標	個性的でクリエイティブなデザインが考えられる力を修得						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 アパレル企業での勤務経験、企業デザイナーとしての実績を生かし、デザインの発想の方法 や、デザイン技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ファッションデザインのもと	エレガントとスポーティの意味、モダンとデコラティブの意味					
3～4	〃	テーマからのデザイン発想					
5～6	ファッションアイテムの知識	スカートの知識と課題					
7～8	〃	シャツ・ブラウスの知識と課題、ハンガーイラスト					
9～10	〃	シルエットのバリエーションと課題					
11～12	〃	パンツ・デニムの知識と課題					
13～14	〃	ジャケットの知識と課題					
15	〃	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	『スタイリングブック』[著]高村 是州						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%・修了テスト40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅠ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要なデザイン表現技術の修得を目指す						
学習到達 目標	製図理論を理解し、基本的なアイテムの製図が出来る						
担当教員の 授業に関わ る 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	授業ガイダンス	概論・製図道具の名称、扱い方・製図ノートの扱い方 既製服サイズの説明と採寸方法					
3～4	スカート原型	スカート原型の作図(実寸製図)					
5～6	スカートバリエーション①	セミタイトスカート・ギャザースカート・ティアードスカート(縮尺製図)					
7～8	スカートバリエーション②	フレアスカート・サーキュラスカート・ペグトップ(縮尺製図)					
9～10	身頃原型製図	身頃原型概論・原型作図(実寸製図)・原型補正(サイズ)					
11～12	カット移動・ダーツの操作	カット移動5種・ダーツ処理の基本 後ろ身頃の補正法					
13～14	袖原型	袖原型作図(実寸製図)、袖山の高さの決め方・袖山のカーブの引き方					
15～16	パンツ原型	パンツ概論・パンツ原型製図(縮尺製図)					
17～18	身頃のバリエーション①	ボックス・タイト・プリンセスライン・フレアー・襟ぐりタック・襟ぐりギャザー					
19～20	身頃のバリエーション②	ウエスト切り替え・ヨーク切り替え 展開方法10種(縮尺製図)					
21～22	袖のバリエーション①	長袖タイトスリーブ(横ダーツ・縦ダーツ)・ビショップスリーブ					
23～24	袖のバリエーション②	タックスリーブ・シャツスリーブ・半袖3種・パフスリーブ3種 展開方法11種(縮尺製図)					
25～26	襟のバリエーション①	スタンドカラー・シャツカラー・台襟付きシャツカラー・フラットカラー					
27～28	襟のバリエーション②	ボーカラー・セーラーカラー・フード・テラーカラー・ショールカラー 展開方法9種(縮尺製図)					
29～30	テスト	前期修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	『パターンメイキングⅠ』学校法人 杉野学園出版部 『パターンメイキングⅡ』学校法人 杉野学園出版部 『ドレメ式原型』学校法人 杉野学園出版部						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%・修了テスト50%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	色彩に関する基本的な理論と必要性を理解し、色に慣れ親しむ						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格できる知識の習得						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師 が、その経験を活かし、色彩の基本的理論を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	概論ー色彩のはたらき	色彩の機能、服装と色彩、ファッションと色彩					
2	色彩の体系	色の三属性(色相)、カラーカードグルーピング、色相環作成					
3	"	色の三属性(明度・彩度)、カラーカード記入					
4	"	ヒュー&トーン、トーンマップ作成					
5~6	パーソナルカラー診断	パーソナルカラーとは、診断実演					
7	"	似合う色コードのコラージュ作成					
8	色彩理論ー基礎	コラージュ発表、色の成り立ち、光と色					
9	"	三原色と混色					
10~11	"	視覚と色、色彩と心理					
12	色彩の技術	配色の基礎、色相を基準にした配色、配色演習					
13	"	トーンを基準にした配色、配色演習、色彩基礎					
14	"	色彩構成の基礎、色彩基礎復讐					
15	テスト	修了テスト(色彩基礎)					
使用テキスト 教材・教具	『ファッション色彩 I』日本ファッション教育振興協会 『ファッション色彩能力検定試験3級公式問題集』日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判、3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm SAKAE ブラックペーパー-A3×2枚、A3クリアファイル						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							
備考							

授業科目	Mac実習 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	四田 素子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと 目的	ビジネスに必要な「Microsoft Word」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」の基本操作を学習し、実践できるスキルを習得する						
学習到達 目標	基本的なビジネス文書やイラストを用いた表現力のある文書、表やグラフ、各種関数が組み込まれたワークシート、見やすく効果的なプレゼンテーション資料が作成できる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word ①	Word for Mac の基本操作を確認する					
2	Word ②	Wordで基本的な文書を作成する					
3	Word ③	画像や図形を活用した文書を作成する					
4	Word ④	表を活用した文書を作成する					
5	Word 演習	Wordの復習として演習課題を解く					
6	PowerPoint ①	PowerPoint for Mac の基本操作を確認する					
7	PowerPoint ②	オブジェクトを挿入し視覚効果の高い資料を作成する					
8	PowerPoint ③	プレゼンテーションに動きを設定する					
9	PowerPoint 演習	PowerPointの復習として演習課題を解く					
10	Excel ①	Excel for Mac の基本操作を確認する					
11	Excel ②	データを計算し表の体裁を整える					
12	Excel ③	いろいろな関数を利用する					
13	Excel ④	グラフ機能やデータベース機能を利用する					
14	Excel 演習	Excelの復習として演習課題を解く					
15	まとめ	WordとExcelを連携した書類を作成する					
使用テキスト 教材・教具	『今すぐ使えるかんたんMicrosoft Office for Mac[Office2024/Microsoft365 両対応]』AYURA/技術評論社 (ISBN:9784297149413)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%・課題作成70%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							



授業科目	ファッションドローイングⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	描き方の基礎を学び、イメージを絵として表現できるようになる						
学習到達 目標	オリジナルデザイン画を描けるようにする						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	人体図	模写(着色)					
5～6	デザイン画 ルックブック制作	テーマ決め(世界観作り)					
7～8		ビジュアルリサーチ(ムードボード作り)					
9～13		構成決め、デザイン画を描く					
14～15		プレゼン、まとめ					
使用テキスト 教材・教具	コピックチャオ、ミリペン1セット(サクラピグマ0.1/0.3/0.5)、マルマンクロッキー帳SM-02 水彩色鉛筆、画用紙						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	デザイン画80%・提出作品20%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自必要な画材、ノートを持参する						

授業科目	クリエイションデザインⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う						
学習到達 目標	個性的でクリエイティブなデザインが考えられる力を修得						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 アパレル企業での勤務経験、企業デザイナーとしての実績を生かし、デザインの発想の方法 や、デザイン技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ファッションアイテムの知識	コートの知識と課題					
3～4	〃	ブルゾンのバリエーションと課題					
5～6	〃	シューズと帽子的バリエーション、グッズデザイン①					
7～8	〃	バッグの知識、グッズデザイン②					
9～10	ブランディングデザイン	ブランディングとは					
11～12	〃	シーズン企画					
13～14	〃	ブランド企画					
15	〃	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	『スタイリングブック』〔著〕高村 是州						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%・修了テスト40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅡ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学 年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要なデザイン表現技術の修得を目指す						
学習到達 目標	デザインを表現する為のダーツ操作ができ、創作デザインのパターン展開が出来る						
担当教員の 授業に関わ る 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ブラウス製図	襟の製図 フラットカラー・シャツカラー・台襟付きシャツカラー・セーラー					
3～4	ブラウスのトワル組み	袖の製図					
5～6	身頃続きの袖	フレンチスリーブ・ドルマンスリーブ					
7～8	その他	セーラー・ウイングカラー					
9～10	ワンピース身頃	ハイウエスト・ローウエスト					
11～12		プリンセスライン・パネル切替 展開方法3種(縮尺製図) 3面体実寸製図					
13～14	ジャケット身頃	3面体・4面体					
15～16	2枚袖	1枚袖から2枚袖					
17～18	テーラードカラージャケット 製図	3面体実寸製図を使用したテーラードカラー・ショールカラー製図					
19～20		製図をトレースし、工業用パターン作成					
21～22	ジャケットのトワル組み	シーチングにトレース					
23～24		裁断					
25～26		ピンワーク					
27～28	襟ぐりのバリエーション	ダイヤモンドネック・ハートシェイプドネック・ローネック他6種					
29～30	テスト	後期修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	『パターンメイキングⅠ』学校法人 杉野学園出版部 『パターンメイキングⅡ』学校法人 杉野学園出版部 『ドレメ式原型』学校法人 杉野学園出版部 他 約9点						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%・修了テスト50%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン・販売における具体的事例に触れながら活用イメージを膨らませ、提案できる色彩スキルの基礎を身につける						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師が、その経験を活かし、色彩スキルの基礎を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション産業と色彩	ファッション産業における色彩の役割、演習発表					
2	"	商品企画における色彩、流行色情報					
3	"	デザインと色彩					
4	"	染色、ビジュアルマーチャンダイジング(VP・PP・IP)					
5	"	照明の色と種類					
6	模擬テスト	模擬テスト①					
7	骨格診断	コラージュ発表、色の成り立ち、光と色					
8	"	スタイルアップコーデのコラージュ作成					
9~14	検定対策	模擬テスト②~④・解説					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	色彩学Ⅰに記載						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%・修了テスト30%・検定40%で評価する						
履修上の 留意点		検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2026年12月19日(土)				
備考							
備考							

授業科目	Mac実習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	Adobe Illustrator、Photoshopを中心に基本操作から応用までのテクニックを修得できクリエイションデザインの幅を広げることが目標						
学習到達 目標	ハンガーイラスト、スタイル画をPCで描ける						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Illustratorの基本操作Ⅰ	直線と曲線①					
2	Illustratorの基本操作Ⅰ	直線と曲線②					
3	Illustratorの基本操作Ⅰ	直線と曲線③					
4	Illustratorの基本操作Ⅱ	キャラクターを描こう①ドラえもん					
5	Illustratorの基本操作Ⅱ	キャラクターを描こう②好きなキャラクター					
6	Photoshop基本操作Ⅰ	マガジンの表紙をつくろう①					
7	Photoshop基本操作Ⅰ	マガジンの表紙をつくろう②					
8	Photoshop基本操作Ⅰ	マガジンの表紙をつくろう③					
9	Photoshop基本操作Ⅱ	Photoshopで着色①					
10	Photoshop基本操作Ⅱ	Photoshopで着色②					
11	Photoshop基本操作Ⅱ	Photoshopで着色③					
12	企画MAP制作	テーマからのimageMAP					
13	企画MAP制作	スタイル画					
14	企画MAP制作	ハンガーイラスト					
15	企画MAP制作	プレゼンテーション・修了テスト					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%・修了テスト40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	マーケティング I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大方 和則			時間割	火曜2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	実店舗運営をシュミレーションし、ファッションマーケティングを実践的に学ぶことで企業研究や就職活動に生かせることを目的とする						
学習到達 目標	ファッションマーケティングの基礎知識を説明できるようにレベル(FB3級程度)を目指す						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長、バイヤー・マネージャーなどの経験を活かし、即戦力となるスキルを学生に指導していきます					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション業界の現状	(目標)現在の市場動向を把握を説明できる					
2	市場動向/ビジネス企画	(目標)基本的なマーケティングの流れを説明できる					
3	市場動向/ビジネス企画	(目標)強みを社会貢献につなげるパーパスの設定ができる					
4	市場動向/ビジネス企画	(目標)STP分析ができる					
5	市場動向/ビジネス企画	(目標)立地戦略ができる					
6	市場動向/ビジネス企画	(目標)春夏のバイイングができる					
7	市場動向/ビジネス企画	(目標)秋冬のバイイングができる					
8	市場動向/ビジネス企画	(目標)PB企画ができる					
9	市場動向/ビジネス企画	(目標)インストアマーチャンダイジング(接客)が理解できる					
10	市場動向/ビジネス企画	(目標)インストアマーチャンダイジング(VMD)が理解できる					
11	市場動向/ビジネス企画	(目標)プレストアマーチャンダイジング(プレス)が理解できる					
12	市場動向/ビジネス企画	(目標)ECの構築ができる 前編					
13	市場動向/ビジネス企画	(目標)ECの構築ができる 後編					
14	市場動向/ビジネス企画	(目標)3ヶ年予算計画 初年度年予算編成ができる					
15	市場動向/ビジネス企画	(目標)初年度月別仕入予算編成ができる					
使用テキスト 教材・教具	ノートパソコン(グーグルのアプリ使用)						
参考図書 参考文献	様々なメディアから発信されるニュースを取り扱う						
成績評価の 方法・基準	課題を100%で評価						
履修上の 留意点	オンライン授業 質問等はWEB上の個人ノート上で解説	検定試験の 概要					
備考	オンライン上で企画書を積み重ねていくので出席の意識を強く持つこと						